

令和6年度

海上保安庁関係予算配分概要

目 次

I. 令和6年度海上保安庁関係予算配分方針	1
II. 令和6年度予算配分総括表	1
III. 事業別概要	2
IV. 管区海上保安本部等別配分額	3
V. 配分箇所具体事例	4

令和6年4月

I. 令和6年度海上保安庁関係予算配分方針

令和6年度船舶交通安全基盤整備事業については、「経済財政運営と改革の基本方針2023」等の政府が掲げる基本的施策の考え方に沿った事業等に重点的に配分する。

II. 令和6年度予算配分総括表

令和6年度 配分額	直轄		合計	
	本省配分	計	本省配分	計
船舶交通安全基盤整備事業	23,911	23,911	23,911	23,911

○海上保安能力の強化

【巡視船艇基地等の整備】

海上保安能力強化に伴う巡視船艇基地等の整備を実施する。



【巡視船艇等の代替整備】

巡視船艇等の老朽化に伴い代替整備する。



【巡視船艇等の運航】

巡視船艇等の活動に必要な運航を維持管理する。

○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進

【走錨事故等防止対策】

臨海部施設周辺海域、特定港及び船舶がふくそうする海域等に監視カメラやレーダーを設置し、海域監視体制の強化を図り、重大事故を未然に防止する。



監視カメラの整備



レーダーの整備

【航路標識の耐災害性強化対策】

航路標識の耐災害性強化対策を図り、船舶交通の安全を確保するための対策を講じる。

<海水浸入防止対策>

<電源喪失対策>



基礎部亀裂補修
(環境遮断)



太陽電池化

蓄電池の増設

【航路標識の老朽化等対策】

航路標識の倒壊、損壊等に備えるため、長寿命化の整備を着実に実施する。

<信頼性向上対策>

<監視体制強化対策>



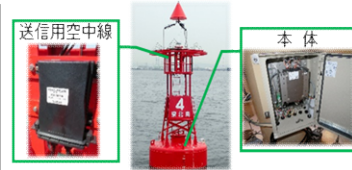
外壁補修



防水工事



耐波浪型LED灯器の整備



クラウド監視装置の導入

○航路標識の適切な維持管理

船舶交通の安全を確保し、運航能率の増進を図るため、灯浮標やレーダー回転機構部の定期交換など、適切な維持管理を実施する。

◎灯浮標の定期交換



<灯浮標の引揚げ>



<灯浮標の設置>



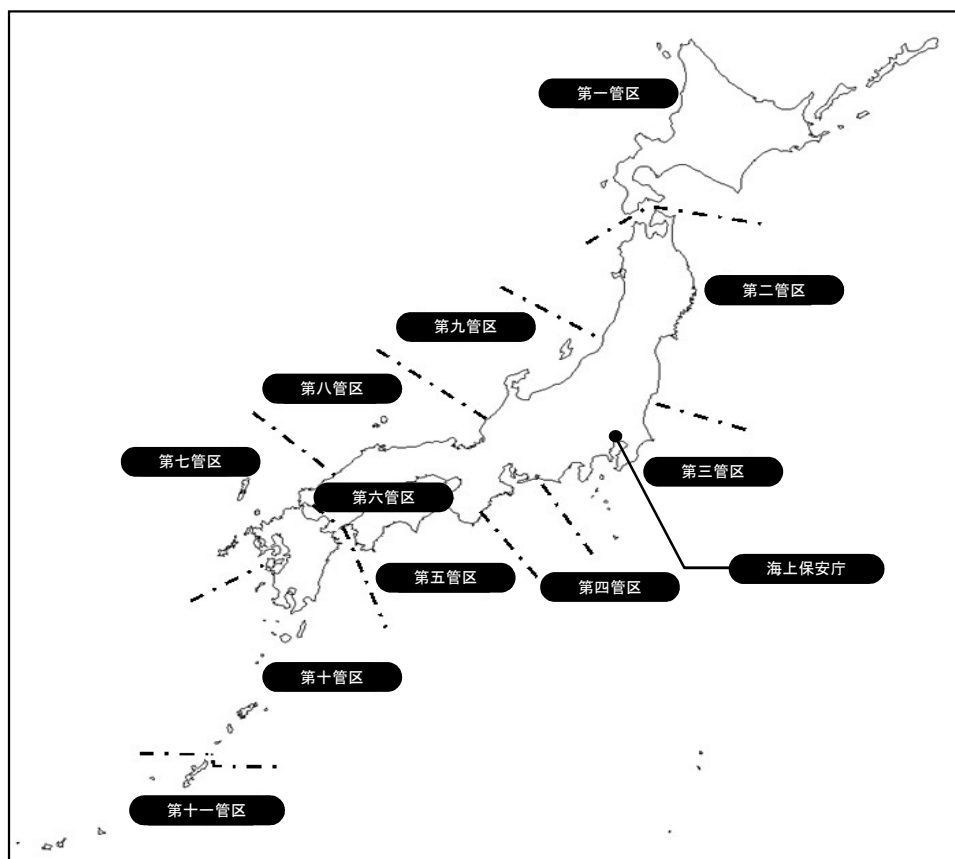
<設置完了>

IV. 管区海上保安本部等別配分額

[直轄事業]

区 分	事業箇所数 (箇所)	船舶交通安全基盤整備事業 (百万円)	
			対前年度倍率
海上保安庁	1	5,098	2.107
第一管区 海上保安本部	27	1,213	1.770
第二管区 海上保安本部	33	751	1.392
第三管区 海上保安本部	21	3,222	1.424
第四管区 海上保安本部	38	823	1.208
第五管区 海上保安本部	23	2,276	1.161
第六管区 海上保安本部	53	2,535	1.123
第七管区 海上保安本部	35	3,194	0.880
第八管区 海上保安本部	25	898	1.120
第九管区 海上保安本部	14	631	0.727
第十管区 海上保安本部	40	1,144	0.474
第十一管区 海上保安本部	15	2,126	1.072
合 計	325	23,911	1.166

※端数処理の関係で、合計額は必ずしも一致しない。



V. 配分箇所の具体事例

国民の安全・安心の確保

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
広島県 (呉市)	呉港 船舶交通安全基盤整備事業	百万円 666	令和6年度に就役する大型練習船1隻を係留するため、海上保安大学校の棧橋等の整備を実施する。
福岡県 (関門航路等)	関門港 船舶交通安全基盤整備事業	636	船舶交通の安全を確保するとともに、海上輸送による人流・物流の途絶を防止するため、航路標識への国土強靱化対策を実施する。